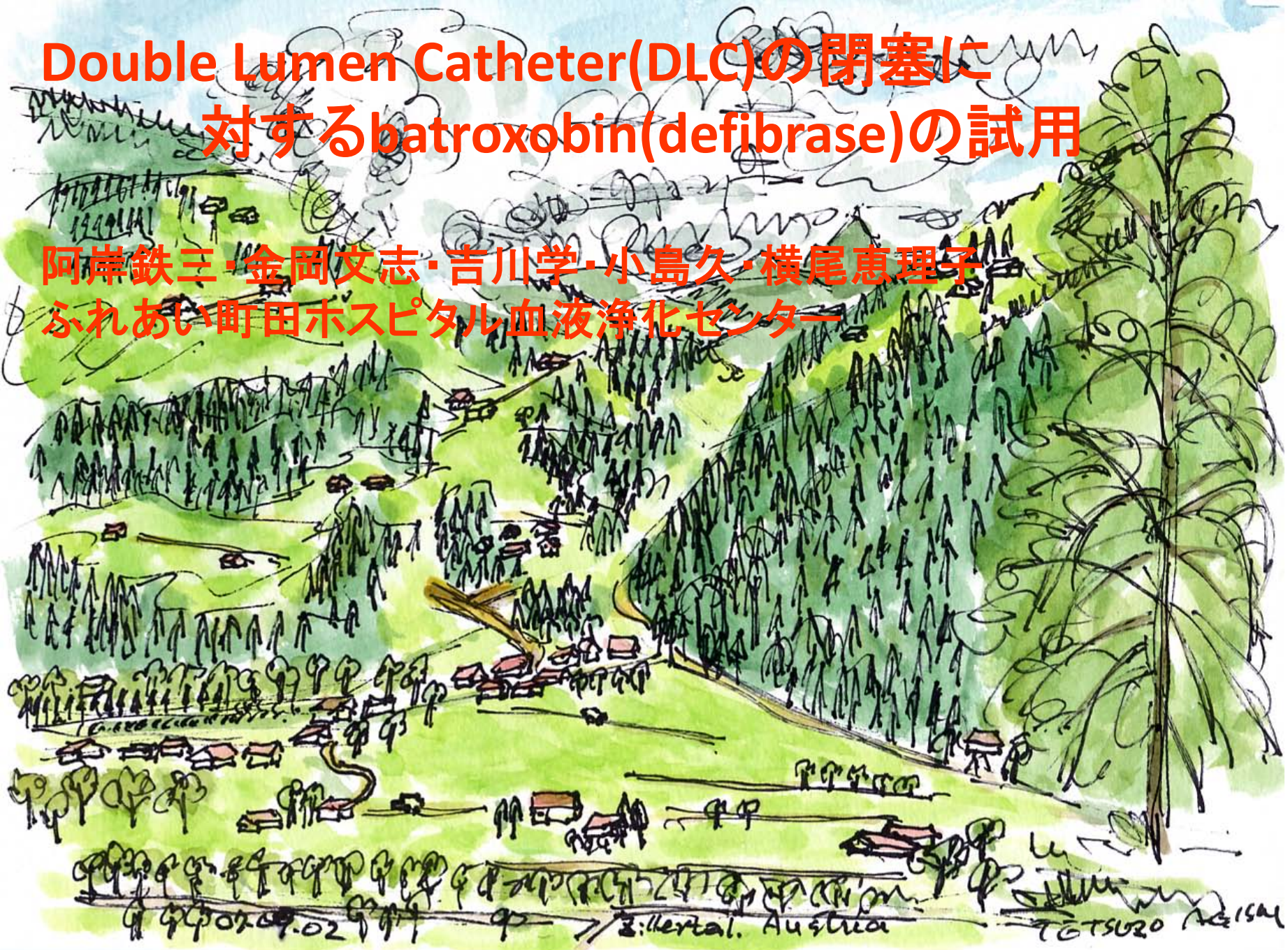


Double Lumen Catheter(DLC)の閉塞に 対するbatroxobin(defibrase)の試用

阿岸鉄三・金岡文志・吉川学・小島久・横尾恵理子
ふれあい町田ホスピタル血液浄化センター



Batroxobin(defibrase:東菱-ケミファ)

作用機序: Batroxobinは蛇毒で、fibrinolytic enzyme,あるいは、fibrinogenをfibrinogen-peptideに分解するなど書かれている。

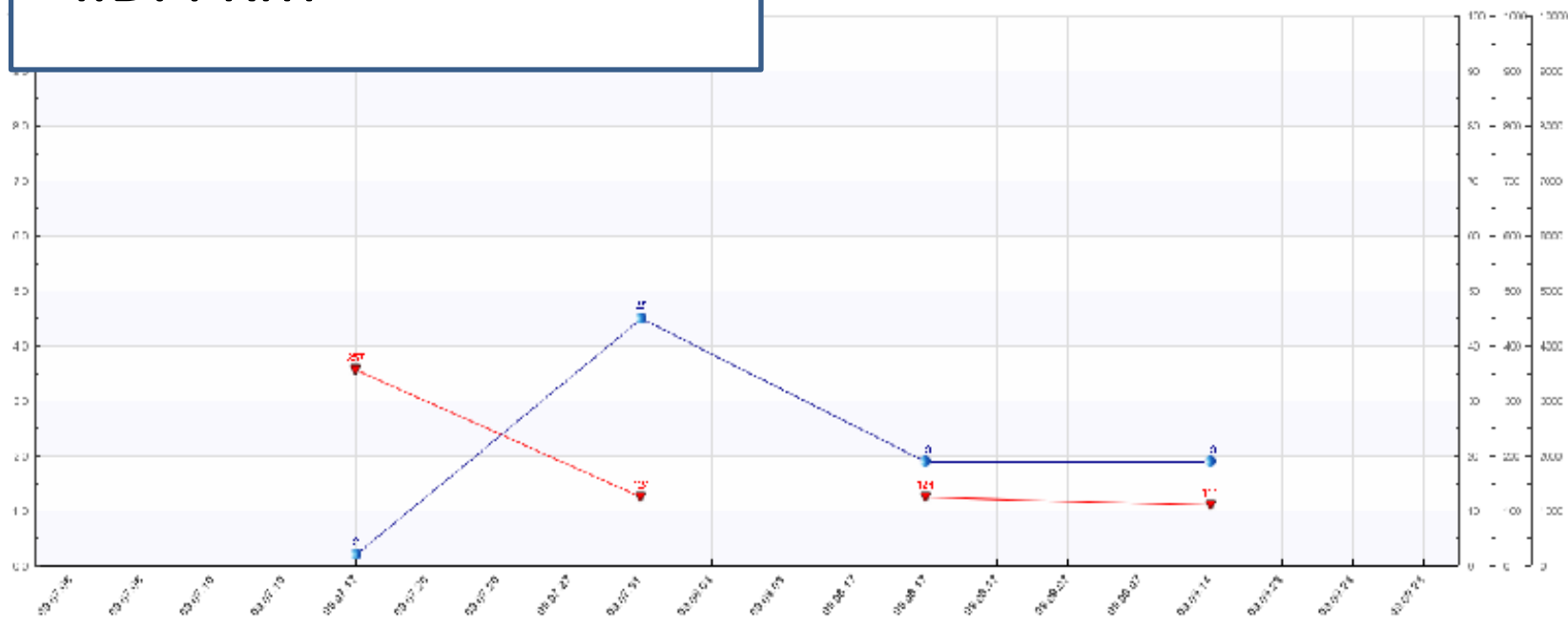
効能・効果: ①慢性動脈閉塞症(バージャー病・閉塞性動脈硬化症)に伴う虚血性諸症状の改善②振動病における末梢循環障害の改善③特発性難聴における聴力の回復ならびに自覚症状の改善

用法・用量: 1日1回10バトロキシビン単位(BU)を輸液で用時希釈し、隔日に1時間以上かけて点滴静注。

投与期間6週間以内、ただし次の場合は初回量を20BUとする。①治療前の血中フィブリノゲン濃度が400mg/dl以上の場合、②特発性難聴において急性効果を期待する場合

使用上の注意:[禁忌]①出血している患者②手術直後の患者③出血する可能性のある患者④重篤な肝障害⑤本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

I.D. : KM



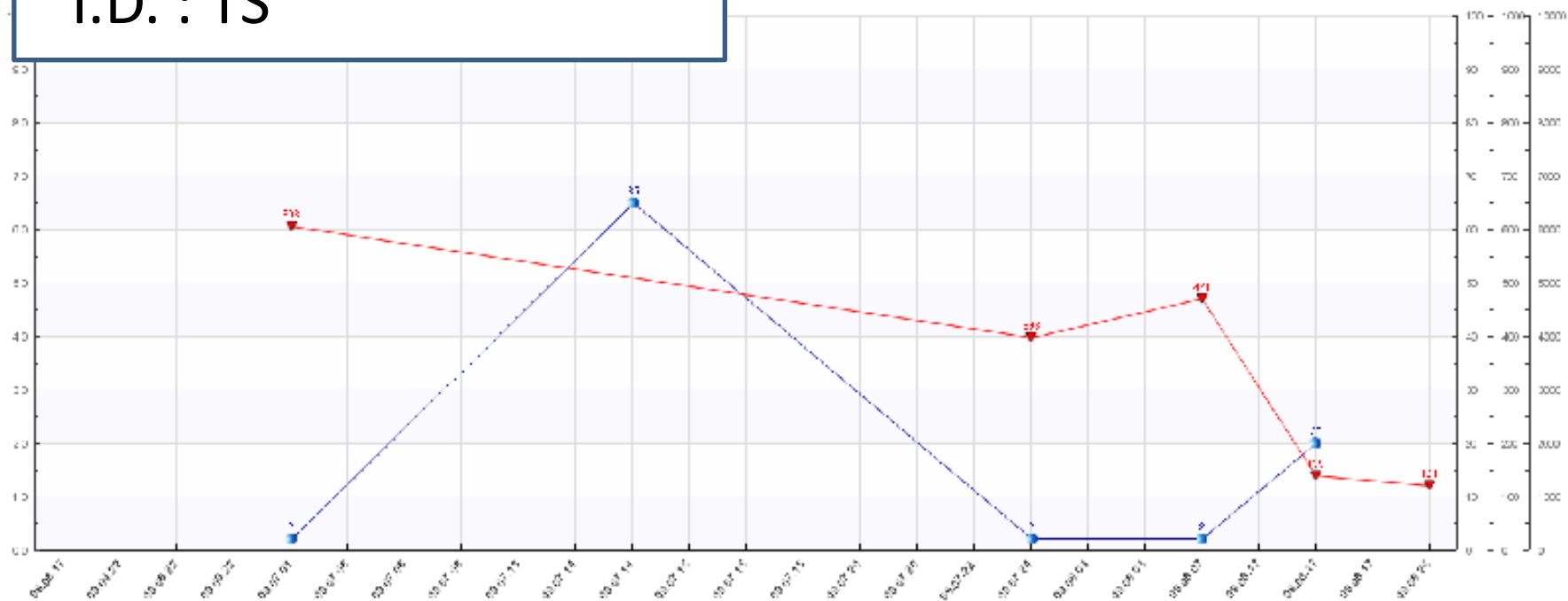
検査項目	記号	基準値	単位
フィブリノーゲン*	▼	170 ~ 410	mg/dl
FDP-血液*	●	5以下	μg/ml

I.D. : KM



検査項目	記号	基準値	単位
PT* : 血漿PT時間	♥	10.0 ~ 13.0	SEC
PT* : PT活性値	●	80.0 ~ 120.0	%
トロンボテスト*	★	70.0以上	%
APTT*	◆	26.0 ~ 38.0	SEC
ヘパラスチンテスト*	♥	70.0 ~ 130.0	%

I.D. : TS



検査項目	記号	基準値	単位
フィブリノーゲン*	▼	170 ~ 410	mg/dl
FDP-血液*	●	5以下	μg/ml

I.D. : TS



検査項目	記号	基準値	単位
PT* : 血漿PT時間	♥	10.0 ~ 13.0	SEC
PT* : PT活性値	●	80.0 ~ 120.0	%
トロンボテスト*	★	70.0以上	%
APTT*	◆	26.0 ~ 38.0	SEC
ヘパラスチンテスト*	♣	70.0 ~ 130.0	%

Defibrase使用の臨床結果

I.D.	投与量 (10 unit)	QBの変化(ml/min)	長期結果 (ml/min)	検査
MK	X6	150～110逆接続→200逆接続	150	fib 357→111 FDP 2→45
TS	X6	200～120→200	200	fib 606→121 FDP 2→65
KM	X5	200～150逆接続→200順接続	100	なし
MS	X2	200逆接続→200～120→200順接続	200	fib 201→50
TH	X6	180～120→200	200	fib 70→40 FDP 215→81
RM	X10	120～100逆接続→200	200	FDP 4→73

結論：

Batroxobin(defibrase)の投与方法に習熟し確立すれば、**DLCの血栓溶解薬**として強力な手段になると考えられた。
DLCの血栓溶解にのみ、試みるべきである。

適応禁忌：

AVF/AVG/表在化動脈/自己静脈には、使用は禁忌とする。**穿刺孔からの出血**が止まらなく可能性がある。